

ふるさと発見

ちがさき丸ごと博物館

第3号

2010.4.1



(シンボルマーク公募作品)



高砂緑地の桜

(茅ヶ崎市立美術館下のオオシマザクラ)

サクラは日本を代表する花木です。各地に桜の名所があり、昔から人々はサクラの花を愛し花見に行っていました。サクラは日本古来の野生種も多いほか、栽培種も多く六〇〇種を超えると云われて種を区別するのは大変困難です。

茅ヶ崎に自生する野生種に近いものは、ヤマザクラ・オオシマザクラ、花が穂になってつくウワミズザクラ・イヌザクラなどがあります。公園・学校など多く植えられているのは栽培種が多く、ソメイヨシノはその代表と言ってよいでしょう。最近では春早く咲く栽培種の河津桜が人気があり市内でもあちこちで満開の木を見かけました。一帯を桜色に染めた桜並木・桜の名所も見事ですが、高砂緑地の野生種に近いヤマザクラとオオシマザクラの大木は見ごたえがあります。

栽培種の多くは花が葉よりも早く開き終わったころ葉が開きます。野生種の子ザクラ系の子ザクラは、えび茶を帯びた葉とピンクの花が同時か、葉が開いてから花が咲きます。オオシマザクラ系の子ザクラは、花は白く葉は緑色でこれも葉が先か花と同時に見られます。高砂緑地内には栽培種の子ザクラもあり、サクラの観察には良い場所です。茶室前の石割桜は、石の割れ目で成長し大木になったといわれ、生命力の強さを感じさせます。また、美術館下のオオシマザクラの大木は、花満開時は真っ白な花と葉の緑のコントラストは清楚な感じを抱かせる見事な大木です。

(写真と文：齊藤さん)

早春の赤羽根を訪ねる

2010年2月6日(土) 9:30~12:00頃 松林公民館集合、解散

行程:約4.5km

ふるさと発見

富士見ファームから富士山を望む



富士見ファーム「農業ふれあい館」
(右側に家庭菜園)



西光寺(現在本堂を改築中)
(橋供養碑、大山燈籠など)



カトリック茅ヶ崎共同墓地



秋山梅林(梅が一面に見事)



道祖神(ドント焼きのお礼も)



神明大明神(源義家が勧進)



旧満蔵寺の鐘楼



水道道:水道管を敷設するためにできた道
(芹沢から鎌倉・逗子へ)



大ケヤキ(樹齢約400年)



水越家の長屋門
(江戸時代の名主の家)



松林村役場跡の碑
(明治22~41年、7か村合併)



二本松のあったところか
(小栗判官駒繫ぎの松)



新湘南バイパスの下には
弥生時代以降の遺跡が

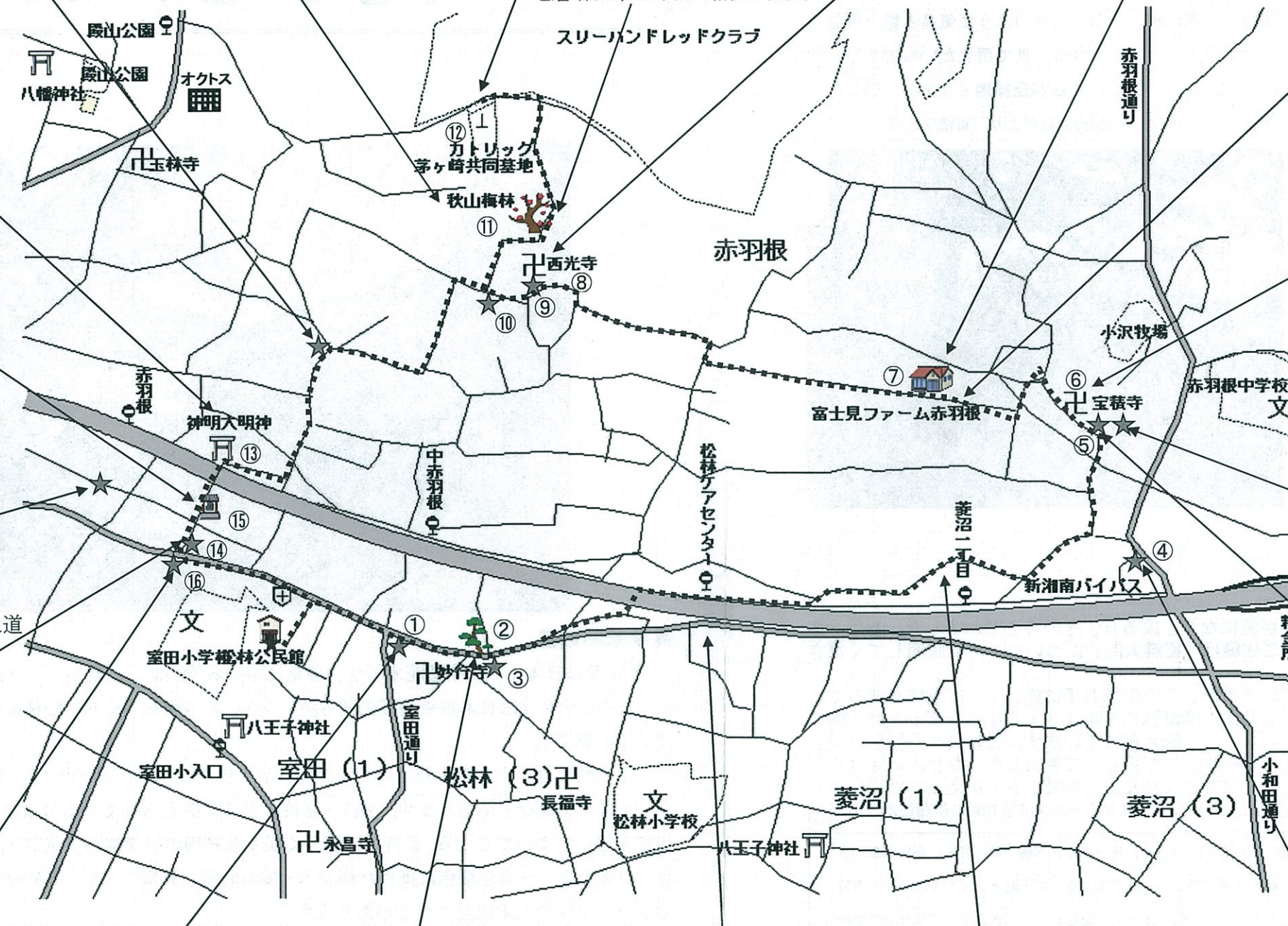


赤羽根ファームと台地(東南から)



神輿堂

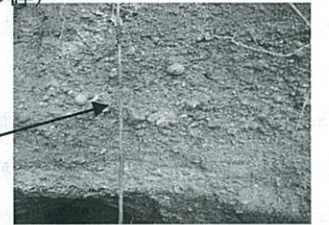
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館 土曜日
(C:2010.3.23 set)



(寺の右高台)



宝積寺(村野もと子の碑)



高座丘陵
横穴墓の上層
古相模川の礫
(14万年前頃か)



(小沢家の裏山に横穴墓か)



小沢家の薬医門(村野もと子の生家)
(神奈川の100人の一人)
(現在は宅地)

私の標本木（標準木）

今年から気象庁の桜の開花予測発表が無くなったのは寂しい。この時期になると家でも会社でも居酒屋でももっぱら桜がいつ咲くかが話題になる。開花予測が当たるのも当たらないのもさしてどう云うこともないのだが開花予測がなくなると聞くと無性に寂しい。（しかし、後になって、開花予測の発表はなくなったものの開花宣言はまだ残っていることを知った。）東京の開花宣言には東京管区気象台が使用する靖国神社の標本木（標準木）はつとに有名である。実は私にも私が一人で密かに決めた茅ヶ崎開花予測用の標本木を持っている。その桜は旧中泉別荘があったラチン通り沿いの松が丘緑地内にある。市内のソメイヨシノより2週間程早く咲くその桜は松や楠の林の奥に一本のみあって、白めで大きな花が誠に美しい。その花は亡き夏目雅子さんの笑顔のように気品と艶と儂さがあって周りでは隠れファンも多いようだ。海岸へ散歩に出かける時には是非立ち寄って見て頂きたい桜である。桜の木には確か「雛ざくら？」と書いた名札が下がっていたが今はなくなっていた。松が丘緑地：ラチン通りと鉄砲道が交わる松が丘交差点から海に向かってすぐの左側にある。 丸ごと土曜会会員だより（東海岸北5丁目在住）

郷土のまち茅ヶ崎を舞台にした読み物の紹介コーナー

「五説経」水上勉訳・横山光子脚色 若州一滴文庫

五説経とは「山椒大夫」「刈萱」「信徳丸」「信太妻」「小栗判官」をいうが、庶民が文盲のままに言い伝えてきた民間伝承の物語。大山街道にあった、小栗判官の駒繫ぎの松の前で、この本の「おぐり」を想う時、深みが増すお勧めの一冊。水上勉はタケノコの皮で和紙を漉き竹人形を作って人形座の公演をした。その脚本が「五説経」という書物として出版されたもの。若州一滴文庫は水上勉生家の近くに建てられた記念館です。五説経の人形も陳列されています。若狭の小浜線にあります。福井県大飯郡大飯町岡田 電話 077-77-1414

（高橋正純さん）



◆「茅ヶ崎山 円蔵寺」

寺脇門にある石柱に書かれた「秘鍵大師」という表示が気になり、或る日、その寺を訪ねました。寺は「茅ヶ崎山 円蔵寺」、茅ヶ崎駅から歩いて5分ほどです。ご住職は「秘鍵大師」について丁寧に説明してくださいました。

一般に弘法大師像は右手に五鈷、左手に数珠を持っていますが、その中で右手に剣、左手に数珠を持っている像を秘鍵大師と呼ぶとのことでした。秘鍵大師像は、弘法大師が弘仁9年（818年）の天下大疫の際に撰述した「般若心経秘鍵」の教義に基づいて造られるようになったと伝えられています。この般若心経秘鍵のおかげで悪疫は終息し、それ以来、秘鍵大師像は悪疫除、厄除の像として祀られてきました。なお円蔵寺は高野山真言宗の寺で、秘鍵大師像は秘仏なので直接に拝することはできません。ご開帳するとかえって災いが生じてしまうのだそうです。茅ヶ崎市の宝物をまたひとつ発見しました。（ガイド養成講座Ⅱ期の伊藤要次さん）

<編集後記> 社会教育課の富永さん、ちがさき丸ごと博物館 土曜会の齊藤さん、田中さん、加藤（幹）さん、高橋（正）さん、ガイド養成講座Ⅱ期生の伊藤さんが寄稿してくださいました。観光・産業や自然・環境に歴史・文化財といった茅ヶ崎の都市資源の探訪をはじめ、トピックス、イベント情報などを加え、ちがさき丸ごと博物館の活動状況を紹介していきます。四季折々の季節感をにじませながら楽しい季刊誌にしていきたいと考えています。（編集長 富永 3号担当 川合 編集委員 池上 高橋）

発行・編集 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1 茅ヶ崎市教育委員会 教育推進部社会教育課文化財保護担当

Tel 0467-82-1111 内線 334 1～2 F A X 58-4265 E-mail: shakaikyouiku@city.chigasaki.kanagawa.jp